

『症例解析&文献評価ワークショップ 2016 : てんかん』

診療ガイドラインには目を通したが、目の前の患者に対する最適な薬物治療法を提案する自信がない。有名医学雑誌に弱く、どんな論文の結果も雑誌名だけで信じてしまう。このような不安を抱える医療者は少なくありません。もしあなたにも思い当たることがあるなら、本ワークショップがあなたの不安を解消する助けになるでしょう。今回のワークショップでは、薬剤選択や用法用量の設定に苦勞の多い「てんかん」をテーマに、皆さんの「**症例の治療を評価する力**」と「**文献を批判的に吟味する力**」を補強します。また、高齢者てんかんの比率も高くなっていることから、高齢者の症例も検討し、高齢者が抱えている薬物治療の問題点も検討します

コースの概要

症例解析：自覚症状や各種検査データから患者の病態を適切に評価したうえで、患者の抱える問題点の把握、根拠に基づいた薬剤選択、PK/PD 理論に基づく用法用量の設計、的確な治療モニタリング計画の立案、望ましい効果が得られない場合の対応など、臨床薬学サービスの基本的な思考と実践的スキルを学びます。

文献評価：臨床研究論文を読む際に注目すべきポイントを学び、論文データの正しい読み取り方（統計学的視点も含む）や批判的吟味の思考を習得します。英語論文を扱い、英語が苦手な方でも論文を評価できることを目指します。

ワークショップ認定指導者制度の発足に伴い、プリセプターとしての参加者も募集します。

プリセプター参加の場合、演習課題の準備や指導方針などの事前打ち合わせ（主にメール）にも加わります。認定指導者制度の詳細については学会ホームページをご覧ください。

開催日時：2016年12月10日（土）13:00～17:30、11日（日）9:30～17:00

開催場所：武蔵野大学 有明キャンパス <http://www.musashino-u.ac.jp/guide/campus/>

定員：症例解析コース 30名、文献評価コース 30名

プリセプター 10名（症例解析5名、文献評価5名）

参加費：正会員・準会員 7,000円、非会員 13,000円、学生 1,000円（いずれも当日払い）

※当日欠席された場合や5月31日以降にキャンセルされた場合には、後ほど会費全額をお支払いいただきます。

申込方法：メールでお申し込みください。メールの件名を「薬物治療ワークショップ 2016 参加希望」とし、

- 1) 氏名（ふりがな）、2) 所属、3) 参加希望コース（一般かプリセプターかも含む）、
- 4) 会員種別、5) 情報交換会への参加希望の有無を明記してください。

申込先：apusera.workshop@gmail.com

※本ワークショップは、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修会、日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師認定制度の講習会・教育セミナーおよび日本薬剤師研修センターの集合研修会に申請予定です。

お問い合わせ先：「症例解析&文献評価ワークショップ 2016」組織委員会

久保田洋子（日本薬科大学） apusera.workshop@gmail.com

日本アプライド・セラピューティクス学会 <http://www.applied-therapeutics.org/>